

| | | | | |
|--------|------------------------|--------|---------------------------|-------------|
| チーム名 | チーム森の木漏れ日 | 大学名・学部 | 横浜国立大学・経営学部 | ニューノーマルステージ |
| プラン名称 | 小田住まいル ～笑顔広がる、小田原移住計画～ | | | |
| テーマ | ニューノーマル時代に対応する観光まちづくり | | | |
| リーダー名 | 宮原颯大 | メンバー名 | 高松晋匡、小松崎祐人、佐々木弓登、木下友萌、河本渚 | |
| 指導教職員名 | 大沼雅也 | | | |

問題認識

社会の状況

コロナ禍によるテレワーク増加
→東京一極集中からの転換

小田原市の現状分析

強み [①多面性のあるまち
②首都圏からのアクセスが良好]

弱み [まちの魅力に関する発信不足]

脅威 [特定エリアへの人口集中
(主に小田原駅と鴨宮駅)]

機会 [①コンパクトシティ化政策
②コロナ禍による移住者の増加]

私たちの目標

「優れたアクセス」

×

「多彩なエリア」の魅力発信



移住者の誘致

多極型コンパクトシティの実現

プランの内容

2段階のプランで、
観光から生活に繋がるイメージを持ってもらう

フェーズ1：「食」×「フォト」イベント

・メインターゲット
→30代の移住を考えている人



フェーズ2：ぶらり移住体験の旅

・メインターゲット
→フェーズ1を経て、小田原移住体験を希望する人

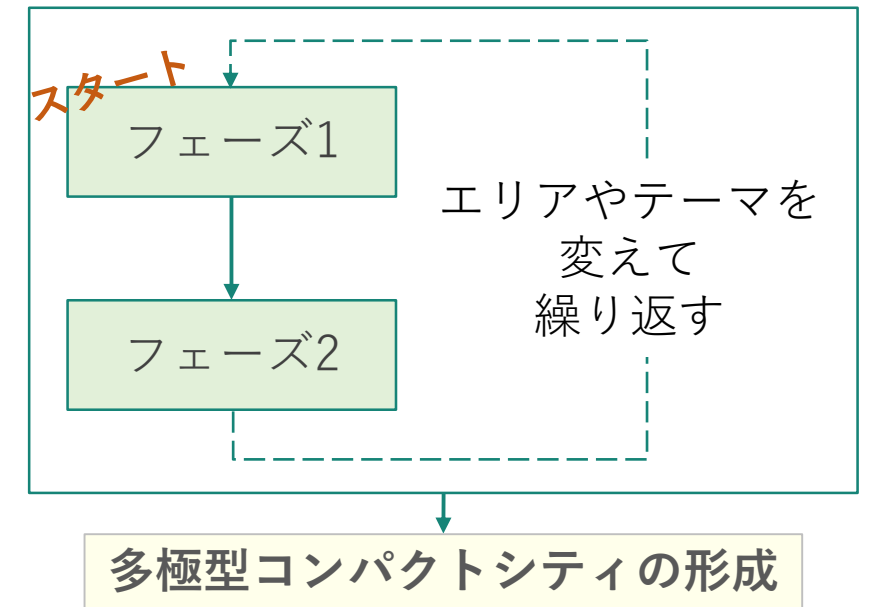


空き家を活用し体験宿泊施設としてリニューアル
気に入ったエリアで暮らしを実際に体験
・対象地 早川エリアと小田急沿線エリア
早川→海鮮・豊かな自然満喫
小田急沿線→週末家庭農園

プランの新規性

- ①移住者と協力したコンパクトシティ
→観光×移住者で独自の取り組みに
- ②ヨコ展開が可能なプラン
→エリアやテーマを変更して各地で
繰り返しの開催が可能

プランの実現計画



プランが実現した場合の効果

- ①小田原市のコンパクトシティ実現
 - ・小田原駅周辺以外の生活圏構築
 - ・市全域の飲食業&観光業の活性化
 - ・移住者と地域住民の交流促進
- +
②観光による経済効果 年間約2,600万円